

留学だより その2(2016年11月～12月分)

現代政策学部 3年 松葉 爽

三か月という時間は本当にあっという間で、実に素晴らしいものでした。この留学でたくさんの人に出会って、話して、遊んで、そして多くのことに挑戦することができ、台湾の淡江大学に留学できたことに心から感謝しています。私の育った日本と縁があるとはいえ、文化も風習も違う異国の地。最初は不安ばかりの留学でしたが、寮や大学で出会ったたくさんの友人や、行きつけの料理屋の店員さんなど、様々な人との出会いが私を成長させてくれました。まだまだ、思ったことを中国語でうまく伝えられないことがたくさんありますが、三か月前と比べて自分が成長していることを実感しています。友達とサーフィンやラフティングやゴルフに行ったり、ジムで体を鍛えたりと初めて挑戦したことがたくさんあり、大学のプールで泳いだり、ランニングをしたり運動をよくするようになりました。



週末になると、みんなで出かけたり、お互いの国の料理屋さんに招待して一緒にご飯を食べたりしています。ハロウィーンではみんなで仮装してパーティーに出かけ、踊ったりしました。仮装するのも初めてのことだったのですが、みんなで電車に乗って移動する際、周りのお客さんが驚いてこちら見る様子を一同で楽しんでいました。



また、私たちの寮には、誕生日を寮のみなでお祝いする風習があり、私のメキシコ人の親友の誕生日もみんなと一緒に祝いました。誕生日の午前零時を迎えると同時に誕生日パーティーが始まり、ケーキとそれぞれ持ち寄った誕生日プレゼントを渡すのですが、私からはスペイン語で書いたメッセージカードを渡しました。私の中国語と英語ではまだまだ思っていることをうまく伝えることができないことが多く、普段伝えられない思いをメッセージカードに託すことにしました。別のメキシコ人の友達が文章を作るのを手伝ってくれ、発音の練習もしてくれました。頑張った甲斐もあって、彼は私のプレゼントを本当に喜んでくれ、大事そうにしまう様子を見て、挑戦してみてもよかったですと心から思いました。



寮には本当にたくさんの国籍の人がいて、その気になれば様々な言語を学べるチャンスにあふれている素晴らしい環境で、私はこの環境の身を置くことができ本当に良かったと思っています。中国語だけでなく、英語やスペイン語やポルトガル語やドイツ語やフィンランド語やフランス語やロシア語や韓国語にインドネシア語など本当にたくさんの言語に触れることができたことは貴重な体験だと思います。何よりもうれしかったのは、寮でできた友達が日本に遊びに行き、一緒に日本観光をしたいと言ってくれたことでした。私たち日本人を見て日本に興味を持ってくれたのだと思うと、本当にうれしく感じました。

私は半年間の留学なので、あとわずかで、期間は短くとも多くの時間を共に過ごした寮のみんなと別れなければならないことは、本当に悲しいことですが、この留学で出来た多くの友人との友情をいつまでも大切にしていきたいです。

